

観光地で「ワーケーション」日光市とNTT東日本栃木支店が実証実験

～ 新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う宿泊先での働き方改革をサポート ～

日光市(市長:大嶋 一生)と東日本電信電話株式会社栃木支店(支店長:小林 博文、以下 NTT東日本)は、日光市の地域特性を生かした新たな観光ニーズの誘引および地域活性化に向けたワーケーション導入効果を検証するために実証実験を行います。

1. 概要

日光市は世界遺産を含む日本有数の観光都市です。昨今の新型コロナウイルスの流行により、観光産業への影響が大きなものとなっております。

このため、日光市が令和元年度から、諸課題を民間企業と協働する事で解決を目指す「日光市と民間企業等との協働に関する提案募集制度」により連携協定を締結したNTT東日本と、観光地での「ワーケーション(Workation)」の可能性と課題を検証するため、実証実験を行います。

新型コロナウイルスによりテレワークが普及したことで、休暇(vacation)を兼ねて観光地である「日光」で仕事(work)する「ワーケーション」の可能性に着目し、本実証実験を通してコロナ禍の先にある新しい働き方(テレワーク・2地域居住など)を、日光市とNTT東日本と一緒に考えていきます。

【参考:日光市ワーケーション実証事業】

- ・ワーケーション対象施設に平日連続宿泊(2泊3日以上)する者の宿泊代の2分の1(一泊上限5千円)を市が補助する。
※補助については、利用者の所属する企業等に対し交付します。
- ・利用者には、アンケート調査を行い、ワーケーションの効果や課題等を検証する。
- ・予算額 5,000千円(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用)

2. ワーケーションに期待されること

【日光市】

- ・コロナ禍の中での消費低迷からの観光振興
※1 平日やシーズンオフの誘客の推進
- ・関係人口の創出・増加
- ・ワーケーションから移住への期待

【NTT東日本】

- ・生産性の高いメリハリのあるワークスタイルの確立とワーク・ライフ・バランスの実現
- ・ワーケーション推進に向けた必要環境の検討~整備協力

3. 実施期間

NTT東日本は、令和2年8月27日(木)~8月28日(金)にかけて、中禅寺金谷ホテルにおいてトライアルを実施します。

※2 日光市実証事業実施期間は、令和2年8月~。終了時期については、状況を見ながら決定。

4. トライアル具体的な取組み

日光市ワーケーション事業の補助を受け、NTT東日本より社員を派遣し、中禅寺金谷ホテルにおいて2日間にわたり、ワーケーションの実践及び今後のワーケーション利用促進に向けた課題抽出等をおこないます。

1) ワーケーションならではの業務取組み

歴史ある自然豊かな環境下において、日常業務をリモートで取り組むと共に、「日光市におけるワーケーション利用促進」をテーマとしたグループワークをおこない、課題抽出等に取り組めます。

※3 トライアルにおいては、ホテル館内の Wi-Fi 環境を利用して、遠隔会議をはじめとしたリモートワークを実証。

※4 トライアル2日目(8月28日)には、大嶋日光市長が模様を視察予定です(午前10時頃予定)。

また、同日 10:00~公開形式にてワーケーション推進に向けたグループワークを実施。

本グループワークについては、NTT 東日本社員に加えて、日光市職員等も参加する予定です。

2) 日光市内における余暇利用

業務終了後に市内観光やレジャー等の余暇を過ごし、リフレッシュすることを目的とします。

5. 今後の取組み

NTT 東日本のトライアル取組みを通じて抽出された課題等を基に、日光市・NTT 東日本・宿泊観光施設(観光協会)の三者が一体となり、ワーケーション利用に向けた課題解決検討を進め、他企業のワーケーション利用促進による、地域活性化を目指します。

⇒【別紙】「今後の取組みイメージ図」参照

6. 取材に関するお願い

取材希望の報道関係者の皆さまに関しては、8月28日(金)9時45分に中禅寺金谷ホテル会議室へお越しください。

報道発表資料に記載している情報は、発表日時点のものです。

現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。ご注意をお願いいたします。

【別紙】

今後の取組みイメージ

